

埼玉アーツシアター通信

SAITAMA ARTS THEATER PRESS



NO. 11

2007.9-10月号



[NINAGAWA 千の目]
作曲家

宇崎竜童

蜷川幸雄
(財)埼玉県芸術文化振興財団芸術監督・演出家

新作2007

特集1 国際共同製作 インバル・ピント・カンパニー Dance Company
Inbal Pinto

特集2 彩の国クラシックシーズン 2007/2008

表紙:インバル・ピント・カンパニー 新作2007 稲古風景

INDEX

Saitama Arts Theater Press NO.11 Sep.- Oct.

**03**

ESSAY

スペクタクル・オペラ
見世物祝祭劇『エレンディラ』**金原ひとみ**

全ては妄想と申す、ひとみの目に涙。

**04**

DANCE

国際共同製作 インバル・ピント・カンパニー
新作 2007 (世界初演)**インバル・ピント ×
アヴシャロム・ポラック**

「壊れた魂」「壊れた形」に乞われて。

**07**

DANCE

『日本昔ばなしのダンス』

井手茂太 × 康本雅子

日本昔々の話しづばなし、踊りっばなし。

**08**

TALK

公開対談 NINAGAWA 千の目 第9回

宇崎竜童 × 蜷川幸雄
千の目万別、竜童的に舌戦過激な歌と劇。**10**

PLAY

彩の国シェイクスピア・シリーズ第19弾『リア王』

蜷川幸雄

リア王の顔も四度。リアイズムの集大成へ。

**12**

PLAY

『身毒丸』復活

藤原竜也

10年目の身毒丸、ますます灑々しく舞台に竜也。

**13**

PLAY

『nostalgia』(彼)と旅をする20世紀三部作 #1

松本雄吉

以心伝心、維新派の感信をかけたノスタルジア。

14

MUSIC

彩の国シーズン・

ラインアップ

2007/2008 全18公演

季節を問わないクラシックのシーズン来る。

**20**EVENT CALENDAR &
TICKET INFORMATION

イベント・カレンダー 2007.9.15-11.30

前売りチケット発売情報 (~11.15) 発売中公演情報

23

THEATER BRIDGE

公演レビュー、募集など劇場からのご案内

24

Artist Diary

テアラビアの朝のピントたちのピントした気持ち。

表紙「インバル・ピント・カンパニー」

PHOTO: Eyal Landesman ILLUSTRATION Inbal Pinto & Avshalom Pollak

編集・構成 矢山聰美 デザイン ATAMATOTE International INDEX コピー BASON

© (財)埼玉県芸術文化振興財団

Published on 15 SEPTEMBER 2007 All Rights Reserved by Saitama Arts Foundation

金原ひとみ ◎ 1983年昭和58年8月8日生 東京都出身
著書「蛇にビタス」「アッシュ・ベイビー」「AMEBICO」「オートバイクション」「ハイドフ」

見世物祝祭劇『エレンディラ』 8月9日公演より

金原ひとみ

劇の始め、祖母の世話をしているエレンディラを見て、母に対して何の力も持たなかつた幼い自分を思い出した。母に利用されながら生きていた子どもの頃の自分を思い出し、母の近くにいたら自分は殺されるという危機感に苛まれた自分を思い出し、母の元を逃げだしてもなお母の亡靈に取り憑かれている今の自分をと思い出し、身震いした。ウリセスが祖母を殺し、それを見ていたエレンディラが走って逃げ出すシーンから涙が止まらなくなつた。自分のために人を殺した愛する人を置いて逃げ出す気持ちが、何故か痛いほど身に染みて、終演まで泣き続けていた。

舞台はエレンディラが逃げ出してから数十年後の、海辺で終わる。ウリセスは実際には駄鳥であり、エレンディラの妄想だったと分かる。そして、実はまだ生きていたエレンディラは、祖母の姿となつていて。帰りの電車を待つ途中、鏡で赤い目を覗き込みながら思った。全ての男は妄想だ。全ての母は妄想だ。そしてウリセスが妄想だったのなら、祖母も妄想だったのではなかろうか。一人の娼婦が、生きるために必死に、壮大な妄想を作り上げたのではなかろうか。この世に生きる全ての人は、生きるために世界を変える。どうしたらしいのか分からぬ誰か助けて。そう思った時、必ず助けはやって来る。私もきっと、自分の中の何者かに母を殺させ続け、ここまで生き延びたのだろう。しかし私に母がいた事なんて、一度でもあつただろうか。そして私もいつか、あの祖母に、母に、変身していくのだろうか。あるいはもう既に、私は母なのだろうか。



ピント&ポラック、本格始動 Inbal Pinto & Avshalom Pollak

地中海を望む真夏のテルアビ夫、国立オペラ座スタジオ。

11月のさいたま世界初演に向かって

インバル・ピントとアヴシャロム・ポラックの新作リハーサルが本格始動した。

創作とは「旅」のようなもの、と語る2人。

日本人ダンサー大植、森山も加わって、ますます刺激的な旅になりそうな予感がする。

— 宮沢賢治からはじまった旅

ポラック：まず、宮沢賢治を読み、情報を集めるところから始めました。賢治の世界はとても豊かですが、そのなかで私たちの世界に通じるものを見つけられたと思います。特に『銀河鉄道の夜』での2人の少年の関係に触発されて、人間関係や友情、つながりといった問題を扱おうとしています。現時点では作品のイメージを言葉にすることは難しい。音楽も動きもセットも、いくらでも変わっていく可能性があります。

ピント：私たちがやっていることは、宮沢賢治の作品と同じように「旅」なのです。宮沢賢治は読者を旅へ誘いますが、私たちもクリエーターとして「創作」という旅に出るのです。旅の途中には驚くような出来事が起きたかもしれない。私たちのために用意された何かがあるはず。

ピント：リハーサルでは「壊れた魂」「壊れた形」について研究しています。「壊れた魂」には何か支えとなるものが必要です。そこで、私たちはお互いにとっての「背骨」になります。ひとりが倒れると、もうひとりがその背骨、あるいは支柱になって支えてあげる。

ポラック：創作は毎回違うもので、旅であり、リスクです。自分がどこに向かっているかはわからない。だから、観客の皆さんにも真っ新的な状態で舞台を見て欲しい。私たちと一緒に旅に出るようですね。

ポラック：これは宮沢賢治とも非常に関連性のあるテーマです。人よりもむしろモノの中にある魂。人間もまたモノになろうとし、

内に魂をもつ。それら互いの関係性を身体の動きを通して発見していきたい。

— 出会いと交換

ポラック：開次とは以前にも一緒に仕事をしています。初めて誰かと仕事をするということは、未知の領域に足を踏み入れ、変化するということ。(森山、大植と)5日間過ごしてみて、とてもいい変化を感じています。開次も真太郎も素晴らしいダンサーで、際だった個性の持ち主。新しい精神とエネルギー、新しいものを創ろうというエネルギーをもたらしてくれます。私たちになかったものを2人から受けとり、2人にはこれまでやったことのないことをやってもらう。交換なのです。

ピント：真太郎とは初めてですが、とてもオープンな状態で来てくれましたし、しかも教わることも多い。カンパニーのダンサーも、彼のダンスから学んでいます。

ポラック：創作は毎回違うもので、旅であり、リスクです。自分がどこに向かっているかはわからない。だから、観客の皆さんにも真っ新的な状態で舞台を見て欲しい。私たちと一緒に旅に出るようですね。

■国立オペラ座カフェテリアにて取材

ピント&ポラック、本格始動 —現地レポート



© Eyal Landesman

インバルの作品では「ブービーズ」を観ましたが、カラーテレビのような印象。イメージが至近距離で次々に飛び出します。僕は「白黒」なんです(笑)。じわじわと何かを伝える…。前作の「シェーカー」にはその気配があり、今回はさらに「白黒」の割合が大きくなって欲しい…。彼等の「変わり目」に立ち会える事、(開次君と僕とは)対極なのに対極ゆえにつながれる事、僕の存在が他のメンバーを通して確認できる事、いろいろなコトコトで共有しある部分が作品の中で見えるといいですね。

大植真太郎



自分とは明らかに違う文化、言葉など違いを楽しんでいます。(リハーサルは)インプロで皆と身体をあわせてコミュニケーションを深めるとこから、インバルはいつも笑っていて、アヴシャロムは動物のようにじっと見てい…その構図が面白いですね。インバルも僕も「作る」ことが好きなんです。身体言語だけなく、衣装を作ったり絵を描いたりするなかにダンスがあるという感覚が似ている。違う自分を見付けたいという期待が一番大きいですね。インバルには僕を「使い古して」欲しい。観客の皆さんには、つながりの不思議感を味わって欲しいですね。

Profile



インバル・ピント&アヴシャロム・ポラック

インバル・ピント(右)とアヴシャロム・ポラック(左)は、イスラエルを代表するコンテンポラリーダンスの振付家・演出家、インバル・ピント・カバニーを率い、「オイスター」(99年)、「ブービーズ」(02年)等、革新的で想像力豊かな傑作を発表し続け、世界でもトップクラスの人気を集めている。一昨年の来日公演は、NHK 教育「芸術劇場」でも放送され、大きな話題を呼んだ。インバル・ピントは、グラフィック・デザイナーとして活動した後、バックショバ舞踊団に参加し、ダンサー・振付家として活動。アヴシャロム・ポラックは、俳優として数多くの映画やテレビに出演するとともに、シェイクスピアやキューホーの舞台にも出演。インバル・ピントとカンパニーを結成して以来、全ての作品を共同で創作している。



大植真太郎 (おおとう しんたろう)

1992年より渡欧し、ハムブルクバレエ団、ネザーランド・ダムス・シアターグループ、パリ・オペラ座を経て現在フリー。スクワードン国立オペラ、クラリーリー・バレエ、Noisir06等に所属。ダンサー・振付家として国境を超えて活躍している。(de) (05年)でノーフォー国際振付コンペティションにて最優秀賞を受賞。ブルディック・グランプリにて最優秀賞ならびにオーディエンス賞を受賞。



森山開次 (もりやま かいじ)

しなやかながら強靭で、空間を切り裂くような独特の表現にて定評があり、2001年エティンラ・フェティバールにて「今年最も才能あるダンサーの一人」と評される。神社社内での公演、屋上のオラボレーションなど実験的な活動を国内外で展開。05年ソロ作品「KATANA」で「貴重なダンサーによる驚くべきダンス」(ニューヨーク・タイムズ紙)と評され、07年6月にはグネア・ピーナーナーにて新作発表など貴重な機会を得る。映画「茶の味」、NHK「からだであそぼ」出演等幅広い分野での身体表現に積極的に取り組んでいる。

***** DANCE *****

国際共同製作

インバル・ピント・カンパニー 新作2007(世界初演)

【日時】11月9日(金) 開演 19:30、10日(土) 開演 15:00

11月10日(日) 開演 15:00

*9日の公演終了後、インバル・ピントとアヴシャロム・ポラックによるポスト・パフォーマンス・トーク(talk・talk・talk 第9回)を行います。

【会場】彩の国さいたま芸術劇場 大ホール

【上演】新作2007(世界初演)
【振付・演出・衣装・デザイン・舞台美術デザイン】インバル・ピント&アヴシャロム・ポラック

【出演】インバル・ピント・カンパニー(10名) 大植真太郎 森山開次

【チケット】好評発売中

一般: S席6,000円 A席4,000円 / 学生A席2,500円

メンバース: S席5,400円 A席3,600円

***** EXHIBITION *****

インバル・ピント・カンパニー スケッチと写真展

【日時】開催期間 9:00~22:00 休館日を除く

【会場】彩の国さいたま芸術劇場 ガレリア 入場無料

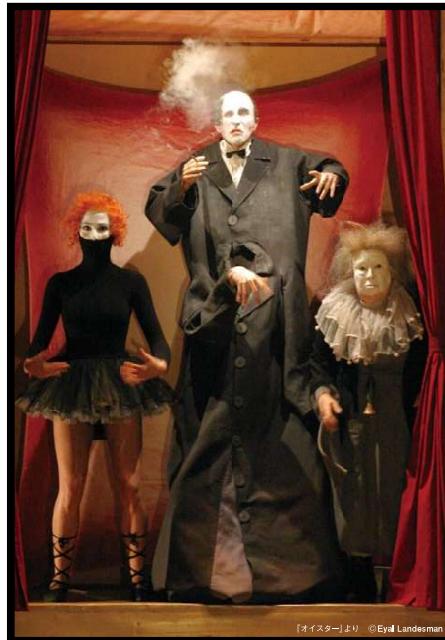
モノノケ的で高貴

高まる新作への期待—。
コンテンポラリー・ダンスを
こよなく愛し、
その魅力を伝える
達人でもある
乗越たかおが、
ピント&ポラックの
ワンダー・ワールドに迫る。

文=作家・舞踊評論家
乗越たかお
Takao Norikoshi



© Inbal Pinto & Avshalom Pollak



「オイスター」より © Eyal Landesman

幕とともに、この世ならざる世界への扉が開く……そんなめぐらめく体験をさせてくれるのが、インバル・ピントとアヴシャロム・ポラックが作り出す作品である。難解なゴタクとは無縁で、無条件に楽しく感性を直撃する。高い評価を受けていたり、世界中で公演が待ち望まれているカンパニーといつてもいい。すでに日本でも代表作『オイスター』や『ブービーズ』が再演・長期公演を重ねているが、その奇天烈にして愛らしい魅力はクチコミで広がり、続々とファンを増やしていくことはご存じの方も多いだろう。今回は、そのインバル・ピント・カンパニーが、彩の国さいたま芸術劇場と共同で作る新作公演である。

インバルは次々に浮かぶイメージをまずノートに描く。昨年テルアビブで会ったときに見せてもらったが、それはまるで一冊の絵本のような豊饒さだった。ここから衣装そして舞台美術まで独自の世界を構築していくのだ。

しかし言うまでもなく、彼らの舞台の最大の魅力はダンスそのものにある。従来のダンスとは隔絶されたような、驚異的という他ないオリジナリティに溢れている。どこかモノノケ的な、高貴にして始原の強さと美しさを

兼ね備えているのだ。お仕着せの動きではなく、自らの律動によって導かれる野生動物の動きのように、一度その動きを見た者は、魅了されてしまうのである。

もちろんその動きを体現するダンサーには、身体能力のみならず特別なセンスも要求されるのだが、今回は二人の日本人ダンサーが参加することでも話題を集めている。

各方面で人気の高い森山開次は4年前に『草原の風』という作品でインバル・ピントの振りを踊ったことがある。インバルと森山、両者の持つモノノケ的な部分があまりにもベストマッチで、ゾワゾワと鳥肌が立つものだ。これは、真に優れたダンサーと振付家が運命的な出会いを果たしたときにのみ感じるものだ。大植真太郎は既に世界で広く活躍し、受賞歴も多い。noismなど日本でもその実力を遺憾なく発揮しており、今回も作品に大きく貢献してくれることは間違いない。

今作は宮沢賢治の作品がモチーフとして生かされるかも……といった前情報もあり、インバルにとってもまた新たな魅力を見せてくれそうな予感がするのである。楽しみに待ちたい。

日本昔ばなしのダンス



日本の昔ばなしをダンスで綴る人気シリーズ第2弾。お母さんも子どもたちも知っている昔ばなしだから、昨年は、「ねずみのすもう」と「へっこきよめ」を上演。からだの動きの楽しさが満載の舞台には、おおらかな笑いあり、手に汗にぎる緊張感あり。今年はどういう「さんねんねたろう」や「かみなりむすめ」が登場するのでしょうか。親子と一緒に楽しんでください。

「かみなりむすめ」は名前が可愛いのと、お話をちよいと切なくこれまた可愛いかったのと、怒りっぽい自分と雷ならば結構いけるんじゃないかと思って選びました。でも見どころはそれを井手氏が私に振付してくれる事でしょう!かねてより振付られたいと願いし人によって踊らされる私は見所でしょうね。もちろん私が井手さんに振付してしまう「さんねんねたろう」だって何のその。頑張る。ですからどうぞ大人の方も恥ずかがらないで見に来て下さいね。

M asako Yasumoto
康本雅子

やすもと まさこ
多岐にわたるジャンルにおいて振付や
出演で出走。演劇や映画、ミュージック
ビデオやPVなどで振付を行ふ他、
自分の作品をボロボロと発表。歩くも
シールで、酔っ払って野蛮と評され
るがそれはどうかな。これまでに韓国、
イタリア、マレーシア、タイで自作を発表。
この度の井手氏との対談!



S higehiro Ide
井手茂太

日頃僕と同じように振付をあちこちでやっている康本さんをパートナーに、お互いに振付し合って一緒に踊るのは、自分でもとても楽しめて、もういっそ康本色に染まりたいくらいの気持ちです。普段あまり出演はせずに振付に専念していたこの僕が、約三年ぶりに踊るので「さんねんねたろう」ずっと寝ていると思ったら! そう言われるかも。そして可愛いだけでもキツいだけでもなく、ちょっと切ない「かみなりむすめ」。ふたりそれぞれにびったりなお話が見つかったのではないかと思っています。子供、大人、親子連れ、すべてのひとに楽しんでもらえたら。

いでのしげひろ
人がつい「してしまう」動きや行動を取り出して、出演者の個性を活かしながら振付と、ユニークな空間や場のつくり方で注目を集めている。自ら率いるイデビアン・グループ以外に演劇作品への振付など、ダンス界以外での評価も高い。

***** DANCE *****
『日本昔ばなしのダンス』
井手茂太／康本雅子 3才以上の子供から楽しんでいただける公演です。
【時】 2008年1月19日(土) 開演 13:00 / 16:00
20日(日) 開演 13:00 / 16:00
【会場】 彩の国さいたま芸術劇場 小ホール
【料】 「かみなりむすめ」 [振付] 井手茂太 [出演] 康本雅子 井手茂太
「さんねんねたろう」 [振付] 康本雅子 [出演] 井手茂太 康本雅子
【チケット(税込)】 金席指定 大人(高校生以上):2,000円 子ども(3才以上中学生以下):1,000円
【発売日】 一般:10月27日(土) メンバーズ:10月20日(土)

●公開対談シリーズ第9回●
NINAGAWA 千の目

初夏の暑い日、6月17日の第9回にやつて来てくれたのは、熱い言葉を抱えて登場した宇崎竜童さん。数々の舞台での共同作業の現場の秘密。それは言葉にせずとも分かり合える固い信頼関係だった。

あれだけ「いい」と言ったのに、次の日 「宇崎、総とっ替えしてくれるか」(笑い)

心底分かり合える何かがあるから、曲が生まれた

蜷川(以降N) 宇崎竜童さんと僕は随分前から一緒に仕事をしていましたが、たくさんわがままを言って、たくさんの曲を作っていました。そのうち使ったのは何割かなので、きっと僕のことを怒っていると思います。

僕は余り演劇や芸能の人では友人がいませんが、その数少ない友人が宇崎さんです。実は宇崎さんはたくさんの物をもらいました。もらったというよりは強奪した。(笑い)一番最初にお会いしたときに、彼はニコルのすてきなモスグリーンのコートを着ていたんです。僕が「ああ、いいな」と言ったら「ああ、欲しい?」と言ってぱッと脱いでくれました。「かっこいいな」と思いましてね、遠慮しなくていいのかと。宇崎さんは著作権料がたくさん入ってくるので、自分よりはるかに金持ちだよなと思い、それ以来会うたびに「ああ、いいな」と言っています。(笑い)

宇崎(以降U) よろしく、どうも。

N 俺の一番最初の仕事は何だろう?

U 「にごり江」ですね。

N これは僕の真ん中辺の演出作品では割と傑作だと思っています。そのきっかけになったのは宇崎さんの曲を聞いていて、「犬

の遠吠え……」というのがあるでしょう。

U あれは『身も心も』。

N ああ、『身も心も』という曲があって、それがすごくよかったです。「あ、宇崎さんに曲を頼もう」と思ったんです。浅丘ルリ子さんが主役で、樋口一葉のいろいろな物語から、それを一つの本につくり上げて出来た、たくさんのエピソードがある芝居です。

例えば少年との愛情を封じて、おめかけさんになってしまった『別れ道』という芝居、それから『にごり江』もそうですね。いろいろな思いをみんな封印して、そういう自分の思いを断念していくような。そういう物語を作ることで、女性たちに対する独断の鎮魂歌を作りたいなと思っていました。それは月の路地裏に集まる人々で、月が青々と輝く夜にそういう女たちが何かを断念しながら生きていくという話をやろうと思って、宇崎さんに曲をお願いしたわけです。それがよかったの、ね。

U そんなによかった? (笑い) こういう説明をあのときにしてくればいいのにね。俺は今でも覚えているよ、東宝の宝塚劇場の事務室だったかで宇崎さんは言うんだ。

「階段状のいろいろな家々の明かりが見える。月がグワーッと出てくる」俺が「それで?」と聞くと、「いや、そういう歌を作ってほしい」と。(笑い) 今ぐらいの説明があれば「ああ、そうだよね」と。

と何かわかる。でも、僕は詞を書く人間ではないので。

N 阿木さんに詞を書いてもらった。

U でも、おっしゃったとおりの女の気持ちを詞にしていましたね。

N 『十六夜小夜曲(いざよいセレナーデ)』。

U そうです、そうです。あれはいい歌だと自分で作っていて思いましたね。

ちょっと日本人の音楽家として、いわゆる西洋の音楽に影響ばかり受けた西洋かぶれがちょっとアスファルトを剥がして、土の匂いをかいでみようかなというような。あの頃は、ちょうどそんな時期にいました。だから、ああいう日本のメロディーを書くことに対して何の抵抗もないというか、逆にいい素材をいたいたいなと思ったんです。

N そうやって宇崎さんはいいかげんな、「いいから作って」とか、そんな感じで作ってもらっていました。宇崎さんは早く、芝居の稽古が始まる前にある程度、6割ぐらいは「じゃあこれを聞いてみる?」と言ってくれる。それで僕がいろいろ選ぶのですが、使わない曲が出ると「使わない」といつて怒ります。(笑い)

稽古がはじまると、何を言い出すかわからない

U すごいことがあったね。シェイクスピアの役者たちがondonから来た、真田広之君だけが日本人俳優でやる『リア王』という芝居だ。あれは僕は忘れもしない。渋谷のジャンシャンというところでライブをやっていたら蜷川さんがやって来て、もうぐぐに渡してあったその音楽を「いいじゃないか」と言っていたのに、コンセプトが変わったとか言い出したんだ。蜷川さんは「全部違う。キューンとかーンとかキャーンとかドヒーンとか」とその時言つたが、僕はそういう作曲家ではないんだよね。『タラララララー』という五線譜の中に、譜面が見たら舞うように小さい音から大きい音、低い音から高い音まで存分の五線譜を使うというメロディーメーカーなのに、「ガン、ドン、ガチャーン」とか…。(笑い)

でも、やるのだよ。やるのはおもしろいから。やっぱり自分のフィールドが、これで「何?」といってやめてしまったらそういう仕事をしなくなってしまう。それと僕と蜷川さんは何か前世でも、「オーラの泉」みたいになるけれども何か因縁があるような気がする。(笑い)僕は前世で借りがあると思う。相当面倒を見てもらつたと思う。

N 僕は貸しがあるんだ。(笑い)

『リア王』は、ロイヤル・シェイクスピア・カンパニーでやったナイジェル・ホーソンが主役の芝居でしたが、僕が想像していたより彼の英語の音がちょっとぐもっていた。僕の『リア王』はもう少し感傷的なアリアなんですよ。声がくぐもっているから鮮烈にならない。そうすると甘いのです。そうすると竜童につくつてもらった綺麗な曲が叙情を上塗りしていくわけだ。実のところ「ああ、だめだな。何でこんな声が評判がいいのだろうか?」と思っていた、今言ってしまえば。(笑い)僕は耐えていたので、それで竜童のところへ行って「ああ、だめだ。キン、コン、カン」と。(笑い)

曲をボツにされる。でもそれは意味があり、生き返る

N 井上ひさしの『藪原検校(やぶはらけんぎょう)』という芝居をこの間終えたばかりです。

U それは歌がうまそうな役者さんが余りいなかった、申し訳ないでけれど。だからやっぱり余り高い音域や音の幅が広い歌をつくれないなと思って取り組みました。ギター1本と井上さんの脚本に書いてあるし、多分ギター1本でということだろうと。昔の本でも何でもください」と言って手に入れて、あれはほとんど半年前にお渡しましたね。そのときも「いいじゃない、これ」と言っていた。しかし全然信用していなかったけれど。(笑い)それが、稽古に入って2日目でしたね。

N 何?

U 「あれ全部キャラにして」と言いましたよね。

N 言ってないよ。

U 言ったよ。「やり直した」と本当に言ったの、2日目に。何で薄情な人だろうと。でも、その予測はしていたから。キャラということは1から出直しますから。ただ、芝居もやっぱり蜷川さんの場合は本当に1からやっていますよね。1というか0からです。だから、それを毎日見ていてその中で、もしそのでこちらにいろいろなものが入ってきたら、きっとそれが栄養になって歌をもう一回つくり直せると思っていたので、全然不満はありませんでしたが。

N といえば不愉快そうな顔をしていた。このまえの『藪原検校』は結構大変でしたが、井上ひさしのだから歌が多いんです。確かに余りうまい人がいなかった。

だけど本当だよね。使わなかった曲を集めたらすごいよね。いいのが残っているかもね。

U 多分それは、蜷川さんのところについている音響さんがいるじゃないですか。この人が全部ストックしていますよ。蜷川さんはお気づきかどうかわかりませんが、例えば新作を作ります。そうすると蜷川さんが「ああ、そうじゃない。もっと違うな、もっとこうだな、井上、違う」とか言うじゃない。そうすると音響さんの井上君が昔のもう忘れていたやつを復活させてくれたりしている。蜷川さんはそれを「ああ、いいじゃないか」と。

だから、僕は新作なのにあれ、僕は作ってないぞという方が時折入っていますよ。それは多分そういうものをストックしていて、蜷川ライブラーに入っているんだと思うんだ。

N 戯りずに今後ともよろしくお願ひします。(笑い)



宇崎竜童(うさき りゅうどう)
京都府生まれ。1973年に「クランク・タウン・ブギウギバンド」を結成しデビュー。「港のヨコ・ヨコハマ・ヨコスカ」など数々のヒット曲を生み出す。作曲家としても活動を続け、「思い出ぼろぼろ」(1976)で日本レコード大賞作曲賞、駅・STATION(1981)などで日本アカデミー賞優秀音楽賞を受賞。2001年、「ロック音楽時代」中と蜷川幸雄による「天保十二年のシェイクスピア」の音楽で、第13回読売演劇大賞優秀スタッフ賞を受賞。現在は、アーティストへの楽曲提供やプロデュース、映画、舞台音楽の制作や俳優として、幅広く活動中。

蜷川幸雄 × 藤原竜也

伝説のパートナーを誕生させた

『身毒丸』が、 10年目に復活。

これは単なるアンコール上演ではない。

これからもっと巨大化しようとする、2人の宣戦布告だ。

文=木俣 冬(フリーライター)

1997年10月15日、蜷川幸雄の62歳の誕生日。ロンドン・バービカン劇場は、沸いた。日本から来た15歳の少年の演技が、英国演劇の牙城を喝采の嵐で大きく揺らしたのだ。その少年こそ、藤原竜也。人生初の演技体験だったが、母と息子の道ならぬ恋というシチュエーションに、ただひたすらに全身全霊で動きまわり、台詞を叫ぶ、その剥き出しの、まさに拳ひとつのが、ちまたもいた禁断の恋には留まらず、人類の大きな物語へ昇華させた。原作者・寺山修司の思いを見事に伝ええたのだ。

あまりの全力投球に、腰を痛め、一度だけ代役に役を譲るということもあったが、千秋楽には自分がやりたいと泣いて訴えて、その任を全うした。これは10年経った今も、そして、これからも語り継がれていくであろう、伝説だ。

以後、蜷川幸雄と藤原竜也は、ベストパートナーとして、三島由紀夫の『近代能楽集』、唐十郎の『唐版 滝の白糸』、シェイクスピアの『ハムレット』『ロミオとジュリエット』と、次々に伝説を塗り替えていく。

彼らにとっては、たかが10年。まだ先がある、と思っているようだ。さすがのツワモノたち…! だからこそ彼らはそれを一度封印した。新たな地平に向かうために。蜷川も藤原も、過去は振り返らず、前進あるのみなのだから。

しかし、この伝説を、ヨーロッパとアジアだけでなく、アメリカでも味わいたいと考えたのがワシントンのケネディセンター。熱いラブコールを送り、遂に固い封印が解けた。

ある意味、今回の公演は、蜷川と藤原が、観客に、今一度、あの伝説を蘇らせてくれる祝祭のようなものだ。とはいっても、サービス公演ではなく、おそらく、新たな挑戦を仕掛けてくるだろう。

蜷川と藤原は、本当に停滞することなく走り続けているから。

『身毒丸』復活公演は、ふたりの10年の深化をかり、これからを占う、指針となるー!

cast profile

藤原竜也 (ふじわら たつや)

1997年「身毒丸」(蜷川幸雄演出)で初舞台を踏む。以後多くの蜷川演出舞台に出演している。また野田秀樹演出「オール」「ロード」「ボーリー」演出「ライ・イン・シアター」などの舞台や、映像でも活躍しており、金子修介監督「テスノート」はヒットを記録した。第38回 紀伊國屋演劇賞 論文賞(2004年)、第3回朝日舞台芸術賞 寺山修司賞(2004年)、第1回 論説演劇賞 優秀男優賞・杉村春子賞(2004年)など、数々の賞を受賞している。

白石加代子 (しらいし かよこ)

早稲田小劇場(SCOTT)を経て現在に至る。主な舞台演出作品に、「メアリー・スチュアート」「常滑坊海賊」「ミザリー」「リア王」「おやすみ、母さん」「源氏物語」「百物語」など、多数ある。野田秀樹・寺山修司・大庭充吉・藤原竜也・白石加代子・白川裕子(第一回及び、第三回)、スボニチ芸能大賞優秀賞、芸術選奨文部科学大臣賞など数々の賞を受賞。2005年紫綬褒章受章。蜷川演出舞台では「夏の夜の夢」「身毒丸」「ペリクリーズ」「コリオナリス」などに出没。

••••• PLAY ••••• 『身毒丸』復活

【日時】2008年3月7日(金)～4月10日(木) 全40公演

【会場】彩の国さいたま芸術劇場 大ホール

【演出】蜷川幸雄 【作】寺山修司／岸田理生 【出演】藤原竜也 白石加代子 ほか

【チケット料金】

一般：S席9,000円／A席7,000円／B席5,000円 メンバーズ：S席8,100円／A席6,300円／B席4,500円

【発売日】一般：11月10日(土) ※メンバーズ優先予約につきましては、10月中旬にプレオーダーシートを別途お送りします。

【会場】彩の国さいたま芸術劇場 大ホール

【作・演出】松本雄吉 【音楽】内橋和久

【チケット料金】好評発売中

前売一般：S席5,000円／A席4,500円 メンバーズ：S席4,500円／A席4,050円

当日一般：S席5,500円／A席5,000円 メンバーズ：S席4,950円／A席4,500円

photo:池上直哉

維新派

nostalgia

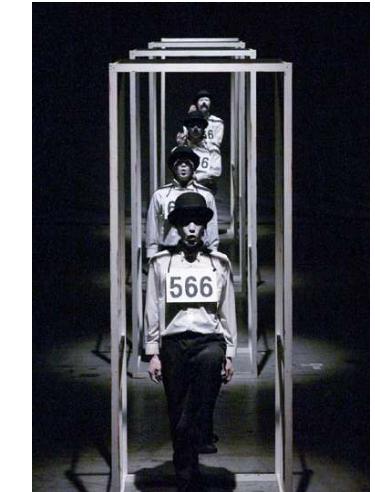
〈彼〉と旅をする20世紀三部作 #1

大阪公演レポート

6月に開幕した『nostalgia』の大阪公演。

芸術性と娛樂性を兼ね備えた奇跡のような舞台の登場。

文=小堀 純(編集者)



••••• PLAY •••••

維新派『nostalgia』ノスタルジア 〈彼〉と旅をする20世紀三部作 #1

【日時】11月2日(金) 開演19:00、3日(土・祝) 開演13:00／18:00

4日(日) 開演13:00

【会場】彩の国さいたま芸術劇場 大ホール

【作・演出】松本雄吉 【音楽】内橋和久

【チケット料金】好評発売中

前売一般：S席5,000円／A席4,500円 メンバーズ：S席4,500円／A席4,050円

当日一般：S席5,500円／A席5,000円 メンバーズ：S席4,950円／A席4,500円

photo:稻永 守治(スタジオエポック)

維新派公式サイト <http://www.ishinha.com/>

『nostalgia』特設ページ
<http://www.ishinha.com/nostalgia/SP/>

宮本益光
バリトン・リサイタル
9月30日(日) 14:00



児玉 桃 ピアノ・リサイタル
～メシアン生誕100年を記念して～
2008年3月1日(土) 14:00



埼玉会館ニューイヤー・コンサート
ウェイン・リング・アンサンブル
2008年1月5日(土) 14:00



白井光子
ピアノ・リサイタル
仲道都代 ピアノものがたり
2008年3月22日(土) 15:00



白井光子&ハルトムート・ヘル
リートデュオ・リサイタル
～名歌手シュワルツコップに捧ぐ～
10月27日(土) 15:00



宮本益光 バリトン・リサイタル
【日時】9月30日(日) 開演 14:00
【会場】彩の国さいたま芸術劇場 音楽ホール (P.22)

NHK交響楽団 ～グリーク没後100年・シェベリウス没後50年記念～
【日時】10月19日(金) 開演 19:00 【会場】埼玉会館 大ホール (P.22)

白井光子&ハルトムート・ヘル
リートデュオ・リサイタル ～名歌手シュワルツコップに捧ぐ～
【日時】10月27日(土) 開演 15:00
【会場】彩の国さいたま芸術劇場 音楽ホール (P.22)

光の庭プロムナード・コンサート
今井奈緒子ボジティフ・オルガン スペシャル・コンサート
【日時】11月10日(土) 開演 14:00
【会場】彩の国さいたま芸術劇場 音楽ホール (P.18)

イエフィム・ブロンフマン ピアノ・リサイタル
【日時】11月10日(土) 開演 15:00
【会場】彩の国さいたま芸術劇場 音楽ホール (P.17)

小山実恵 梦の響演II
【日時】11月17日(土) 開演 14:00
【会場】彩の国さいたま芸術劇場 音楽ホール (P.18)

ピアノ・エトワール・シリーズ Vol.3
デイヴィッド・グレイルザンマー ピアノ・リサイタル
【日時】11月23日(金・祝) 開演 14:00
【会場】彩の国さいたま芸術劇場 音楽ホール (P.16, 17)

光の庭プロムナード・コンサート
永瀬真紀(オルガン) & 横田摶子(クラリネット)
【日時】12月1日(土) 開演 14:00
【会場】彩の国さいたま芸術劇場 情報プラザ (P.18)

ピアノ・エトワール・シリーズ Vol.4
小菅 優 ピアノ・リサイタル
【日時】12月9日(日) 開演 15:00
【会場】彩の国さいたま芸術劇場 音楽ホール (P.16, 17)

埼玉会館ランチタイム・コンサート 第3回
新日本フィルハーモニー交響楽団メンバーによる金管五重奏
【日時】12月21日(金) 開演 12:10 【会場】埼玉会館 大ホール (P.19)

埼玉会館ニューイヤー・コンサート
ウェイン・リング・アンサンブル
【日時】2008年1月5日(土) 開演 14:00 【会場】埼玉会館 大ホール (P.19)

光の庭プロムナード・コンサート
椎名雄一郎(オルガン) & 長瀬正典(サックス)
【日時】2008年1月26日(土) 開演 14:00
【会場】彩の国さいたま芸術劇場 情報プラザ (P.18)

清水直子 ヴィオラ・リサイタル
【日時】2008年2月2日(土) 14:00
【会場】彩の国さいたま芸術劇場 音楽ホール (P.18)

光の庭プロムナード・コンサート
石丸由佳(オルガン) & 柴田恵梨子(トランペット)
【日時】2008年2月16日(土) 開演 14:00
【会場】彩の国さいたま芸術劇場 情報プラザ (P.18)

児玉 桃 ピアノ・リサイタル ～メシアン生誕100年を記念して～
【日時】2008年3月1日(土) 開演 14:00
【会場】彩の国さいたま芸術劇場 音楽ホール (P.17)

バッハ・コレギウム・ジャパン バッハ《マタイ受難曲》
【日時】2008年3月20日(木・祝) 開演 15:00
【会場】彩の国さいたま芸術劇場 音楽ホール (P.18)

熊谷会館ファミリー・クラシック 仲道都代 ピアノものがたり
【日時】2008年3月22日(土) 開演 15:00 【会場】熊谷会館 (P.19)

光の庭プロムナード・コンサート
吉田恵(オルガン) & 高橋節子(ソプラノ)
【日時】2008年3月29日(土) 開演 14:00
【会場】彩の国さいたま芸術劇場 情報プラザ (P.18)

彩の国 季節の深まりを 珠玉の音楽で辿っていく クラシック・シーズン 2007-2008



バッハ・コレギウム・ジャパン
バッハ《マタイ受難曲》
2008年3月20日(木・祝) 15:00



NHK交響楽団
～グリーク没後100年・
シェベリウス没後50年記念～
10月19日(金) 19:00



小山実恵
ピアノ・トリオ 夢の響演II
11月17日(土) 14:00

ピアノ・エトワール・シリーズ Vol.4
小菅 優
ピアノ・リサイタル
12月9日(日) 15:00



イエフィム・ブロンフマン ピアノ・リサイタル
11月10日(土) 15:00

約束された最上質な音楽の感触

ピアノ、室内楽は彩の国音楽ホールで

ソリストたちの繊細な息づかいで感じ取れる、

604席のシーボックス型のホール。

ピアノの名演が生まれてきた伝説のホールでは、声楽や室内楽にも展開。

このシーズンはさらに充実したラインアップだ。

文=片桐卓也(音楽ライター)

“ピアノ・エトワール・シリーズ” 未来の空に煌めく星たちを集めて ★★★★

「エトワール」とはフランス語で「星」を意味する。またバレエの世界では「最高位」を意味する言葉でもある。ピアノ・エトワール・シリーズは、若手ピアニストの期待の「星」を集めているが、きっと彼らは将来において、ピアノの世界の「最高位」に到達するであろう才能の持ち主たちである。

ラファウ・ブレハッヂで始まったこのシリーズは、9月イリヤ・ラシュコフスキイ、11月にはデイヴィッド・グレイルザンマー、12月には小菅優が登場する。

11月に登場するグレイルザンマーだが、1977年イスラエル生まれで、アメリカで学び、活動を続けているピアニスト。指揮も学んだ経験を活かし、モーツアルトの初期ピアノ協奏曲の録音でも注目を集めた。モーツアルトの《幻想曲》「トルコ行進曲付きソナタ」が入ったプログラミングだ。

12月の小菅優は、すでに「ピアニスト100」シリーズでも彩の国に登場した。ドイツで学び、現在もザルツブルクで研鑽を積むピアニストだが、10代の時からドイツで天才ピアニストとして注

ピアノ・エトワール・シリーズ Vol.3

デイヴィッド・グレイルザンマー ピアノ・リサイタル

【日時】11月23日(金・祝) 開演 14:00

【会場】彩の国さいたま芸術劇場 音楽ホール

【当目】スヴェーリング: わが青春はすでに過ぎ去り

ケレン: ファンタジー、とはいえ2つのファンタストローフ(日本初演)

モーヴィット: 幻想曲・短調 KV475 ピアステラ: アルゼンチン舞曲 Op.2

リガディ: 《ムジカ・リエルカータ》より 6つの樂章

モーヴィット: ピアノ・ソナタ第11番 イ長調 KV331 (300)[トルコ行進曲付き]

グラント: 《ゴエスカス》より(愛と死(バラード))

【チケット(税込)】[評価発売中](#)

一般:S席3,500円/A席2,500円/学生A席1,000円 メンバーズ:S席3,150円

目された。2006年には、日本人として内田光子以来となるザルツブルク音楽祭へのリサイタル・デビューを大成功させたことも記憶に新しい。

このシリーズで特に注目したいのは、彩の国さいたま芸術劇場でしか聴く事の出来ないプログラミングである。グレイルザンマーはオランダのバロック期の大作曲家スヴェーリングから現代のリゲティまで、まるで音楽史のような選曲。また小菅優は、バッハの《インヴェンションとシンフォニア》とリストの名曲を組み合わせたもの。それぞれが自分の個性にあった、そしてユニークな曲目を選んでいることが興味深い。

Vol.1
ラファウ・ブレハッヂ
【日時】9月8日(土)
【曲目】J.S.バッハ:イタリア音楽曲
ショパン:24の前奏曲(全曲)他



Vol.2
イリヤ・ラシュコフスキイ
【日時】9月17日(土)
【曲目】ブームス:バガニーニの主題による変奏曲(全曲)
ワーグナー(リスト編曲):イゾルデの愛の死



ピアノ・エトワール・シリーズ Vol.4

小菅 優 ピアノ・リサイタル

【日時】12月9日(日) 開演 15:00

【会場】彩の国さいたま芸術劇場 音楽ホール

【当目】J.S.バッハ:インヴェンションとシンフォニア BWV772-801

リスト:ピアノ・ソナタ 口短調 S178

ノクターン“夢のなかに” S207

【チケット(税込)】[評価発売中](#)

一般:S席3,500円/A席2,500円/学生A席1,000円 メンバーズ:S席3,150円

【チケット(税込)】[評価発売中](#)

一般:S席3,600円/A席2,700円

【発券日】一般:10月14日(日) メンバーズ:10月6日(土)

Piano Etoile Series

3



デイヴィッド・グレイルザンマー

1977年エルサレム生まれ、6歳でアメリカ・イスラエル賞受賞。兵役後、ジュリアード音楽院で指揮とピアノを学ぶとともに、R.グードに師事。2006年にリリースしたSuedamaアンサンブルとのモーヴィットの初期協奏曲(Vanguard Classics: ATMC 1789)は、ル・モント等主要メディアから高く評価された。07年8月、ソロCD「ファンタジー・ファンタズム」(Naive: VSC081)をリリース。

★★★★★★★★★★★★★★

4



小菅 優

1983年東京生まれ。93年ヨーロッパに住み、研鑽を積みながら次々と演奏活動を重ねる。2000年、ドイツ最大の音楽批評誌「フィオ・フォルム」でショパンの練習曲全曲競演5つ星の評価を得る。06年8月にはザルツブルク音楽祭で日本人ピアニストとして人目となるリサイタル・デビューを果たし、大成功を収めた。02年第13回新日鉄音楽賞、06年第8回ホテルオーケラ音楽賞、07年第17回出光音楽賞受賞。

小菅 優、 今回のプログラムに寄せる思い

バッハの《インヴェンションとシンフォニア》は5.6歳のときに全曲勉強したことがあります。曲によっては、何度も何度も各声部を練習したり、歌ったりしたこともあり、自分にとってボリューミーや舞曲の形式を勉強する第一歩だったと思います。最近バッハをプログラムに入れてませんでしたので、これを機に、もう一度バッハを最初に戻って研究しなくなりました。

バッハはもちろん、たくさんの後世の作曲家に影響を与えていますが、特にリストは、バッハ作品のトランスクリプションや《BACH》の名による前奏曲とフーガーを書いていて、バッハへの尊敬を感じます。リストはソナタの中でもフーガを用いるなど、ロマン派らしくソナタ形式にとらわれない自由な形式でありながら、最後には中世からあるボリューミーに戻る多彩さが面白いと思います。

彩の国さいたま芸術劇場の音楽ホールでは、以前コンサートを行った事がありますが、とても弾きやすくて演奏に集中出来るホールです。特にピアニシモの音を限界に至るまで弱く弾いても、ホールの後ろまで届いているのが分ります。お客様と一緒に演奏出来ることが楽しみです。

プロンフマンの登場、

児玉 桃のメシアン・プログラムにも注目

彩の国さいたま芸術劇場の音楽ホールはピアノや室内楽に最適の空間である。ステージに近い席で、優れた演奏家のかもし出す音楽を聞くということは、東京の大ホールでは味わえない醍醐味だ。その代表的な例が、11月に行われるイエフィム・プロンフマンのリサイタル。プロンフマンはザルツブルク音楽祭などの常連で、日本でもゲルギエフ指揮ウィーン・フィルと共に共演するなど、世界的ピアニストのひとり。大ホールを満員にするような実力派を、この音楽ホールの親密な空間の中で聴くということは、まさに贅沢の極みである。今回のプログラムも多彩だが、中でもバラキレフの「イスラメイ」はピアノ音楽史上、最もテクニック的に難しいとされる曲。それをプロンフマンが演奏するのを見間に見られるのである。

ピアノの演奏会に関しては、さらに話題も多い。2008年3月には児玉桃がフランスの作曲家オリヴィエ・メシアン(1908~1992)の作品を中心とした演奏会を開く。2008年はメシアンの生誕100年にあたる。以前、メシアン没後10周年の時に、児玉が演奏した《幼児イエスにそそぐ20のまなざし》の全曲演奏は強く記憶に残るものだった。今回はヴァイオリンの戸田弥生も参加し、メシアンの《ヴァイオリンとピアノのための幻想曲》が日本初演となる、貴重な演奏会となる。

イエフィム・プロンフマン

1958年、旧ソ連タシケント生まれ。今日、最も才能ある一人として広く認められており、その素晴らしいテクニックとリカリュアルな音楽は世界中で聴衆を魅了している。名たる一流指揮者やソリスト達から共演依頼が絶えず、「逃み、オーケストラとの共演、室内楽、リサイタルで活躍。各地の主要音楽祭にも度々招かれてる。レコードイングはソニー・クラシカルから10枚リリースされている。



児玉 桃

大阪生まれ。1歳で渡欧し、幼少よりパリ国立音楽院教授ムニエ女史に師事。13歳の時、最年少優秀でパリ国立音楽院入学。16歳でピアノと室内楽のクラスを審査委員会一致のブルミエ・ブリュエ卒業。セニガリア、エビール両国際コンクール第1位、ミュンヘン国際コンクールで最年少の19歳で第2位(1位なし)。1994年度オランダ奨励賞、97年第7回出光音楽賞。現在パリを拠点に、バッハからメシアンに至る幅広いレパートリーで活躍の場を広げている。

イエフィム・プロンフマン ピアノ・リサイタル

【日時】11月10日(土) 開演 15:00

【会場】彩の国さいたま芸術劇場 音楽ホール

【曲目】ベートーベン:ピアノ・ソナタ第7番 二長調 Op.10-3

ショーマン:「ワインの謝肉祭の道化 Op.26 ラヴェル:夜のガスバル

バラキレフ:東洋風幻想曲「イスラメイ」Op.18

【チケット(税込)】[評価発売中](#)

一般:S席5,000円/A席3,000円/学生A席1,500円

メンバーズ:S席4,500円/A席2,700円

【発券日】一般:10月14日(日) メンバーズ:10月6日(土)

【会場】彩の国さいたま芸術劇場 音楽ホール

【曲目】ベートーベン:ピアノ・ソナタ第1番 二長調 Op.13-3

ショーマン:「ワインの謝肉祭の道化 Op.26 ラヴェル:夜のガスバル

メシアン:《幼児イエスにそそぐ20のまなざし》より 第10番「喜びの聖堂のまなざし」ほか

【チケット(税込)】一般:S席5,000円/A席3,000円/学生A席1,500円

メンバーズ:S席4,500円/A席2,700円

【発券日】一般:10月14日(日) メンバーズ:10月6日(土)

【会場】彩の国さいたま芸術劇場 音楽ホール

【曲目】メシアン:《島のカタログ》第12番「くろさばくひたき」 ラヴェル:夜のガスバル

メシアン:《幼児イエスにそそぐ20のまなざし》より 第10番「喜びの聖堂のまなざし」ほか

【チケット(税込)】一般:S席5,000円/A席3,000円/学生A席1,500円

メンバーズ:S席4,500円/A席2,700円

【発券日】一般:10月14日(日) メンバーズ:10月6日(土)

世界トップクラスの室内楽、そして《マタイ受難曲》も彩の国で

彩の国さいたま芸術劇場音楽ホールは室内楽にも適し、様々な演奏会が行なわれてきた。ピアニスト・小山実稚恵が親しい仲間たちと作るアンサンブルで行う演奏会もそのひとつ。11月の演奏会「ピアノ・トリオ 夢の響演II」では、ヴァイオリンの堀米ゆず子、チェロの堤剛を迎える。

ピアノ・トリオというのは室内楽の王様と呼ばれるように、ソリストが集まる場合がほとんどだ。今回の演奏会では、まずそれとのソロの演奏があり、後半にピアノ・トリオというプログラム。ソリストとしての魅力と、トリオとしての魅力をともに味わえるという贅沢なプログラムである。ピアノ・トリオ作品はブラームスの名作ピアノ三重奏の第1番。青年期のみずみずしい抒情に溢れた作品で、これをベテラン演奏家がどう表現するかも聴き所となるだろう。

2008年2月には、ベルリン・フィルの首席ヴァイオラ奏者として活躍中の清水直子がリサイタルを行う。ヴァイオラ奏者としては珍しく、フランクのヴァイオリン・ソナタをメインに据えたものだ。ヴァイオリンとは違う、少し低めで内省的な音を持つヴァイオラで、このソナタの新しい側面が表現されるに違いない。実力派ならではの選曲だ。

2008年3月にはバッハ・コレギュム・ジャパン(BCJ)による《マタイ受難曲》の演奏会がある。毎年の復活祭の時期に、欧米では「受難曲」が演奏されるが、日本での時期に「受難曲」が演奏されるようになったのは、BCJが積極的に取り上げて来たから。ピリオド楽器(バッハの時代の楽器と演奏スタイル)を取り入れたBCJの演奏は、いにしえの雰囲気をしのばせながら、同時に現代的でもある。604席の空間でBCJを聴くのも、また贅沢である。



小山実稚恵、堀米ゆず子、堀 刚

ピアノの小山実稚恵、ヴァイオリンの堀米ゆず子、チェロの堤剛という、押し押されぬ日本を代表する手たちが、この公演のためだけに特別に組むアンサンブル。昨年の公演では、ベートーヴェンの「大公」とチャイコフスキーキーの「偉大なる芸術家の思い出」など、ピアノ三重奏曲の名曲を組み合わせたプログラムで聴衆を魅了した。

誰もが自然に音楽と解け合える空間 光の庭プロムナード・コンサート(無料)



清水直子

絹部音楽大学でヴァイオリンを広瀬恵子、江藤俊哉の各氏に、ヴィオラを岡田伸夫氏に師事。ヴィオラに転科し1993年研究科修了。94年よりデトモルト音楽大学で今井信子氏に師事。97年ミュンヘン国際音楽コンクール・ヴィオラ部門にて、パシュメット以来21年ぶりの第1位を受賞。2001年2月よりベルリン・フィルハーモニー管弦楽団首席ヴィオラ奏者。その活躍ぶりは06年1月、毎日放送「情熱大陸」で取り上げられた。



バッハ・コレギュム・ジャパン

世界的なオルガン・チェンバロ奏者で東京藝術大学教授の鈴木雅明が、世界の第一級で活躍するオリジナル楽器のスペシャリストと被して1990年に結成したオーケストラと合唱団。特にJ.S.バッハの宗教作品を中心とするロックの音楽を理屈無く上演。普及させることを主旨として演奏活動を行っており、バッハの教会カンタタ全曲シリーズをはじめとして録音も多数リリースし、国際的に高い評価を得ている。

小山実稚恵 ピアノ・トリオ 夢の響演II

[日時] 11月17日(土) 開演 14:00

[会場] 彩の国さいたま芸術劇場 音楽ホール

[出演] 小山実稚恵(ピアノ) 堀米ゆず子(ヴァイオリン) 堤剛(チェロ)

[曲目] J.S.バッハ:バッハルティア第3番 ハ短調 BWV826

バッハ:無伴奏ヴァイオリン・ソナタ 第5番 ト長調 Op.27-5

カッセル:無伴奏チコロ組曲

ブラームス:ピアノ三重奏曲第1番 口長調 Op.8

[チケット(税込)] 好評発売中

一般: S席4,000円/A席3,000円/学生A席1,000円

メンバーズ:S席3,600円/A席2,700円

清水直子 ヴィオラ・リサイタル

[日時] 2008年2月2日(土) 開演 14:00

[会場] 彩の国さいたま芸術劇場 音楽ホール

[出演] オスガーナ・アイディン(ピアノ)

[曲目] シューマン:おとぎの絵本 Op.113

ヒンデミット:ヴァイオラとピアノのためのソナタ Op.25-4

フランク:ヴァイオラ・ソナタ イ長調(原曲=ヴァイオリン・ソナタ)

[チケット(税込)] 好評発売中

一般: S席4,000円/A席3,000円/学生A席1,000円

メンバーズ:S席3,600円/A席2,700円

バッハ・コレギュム・ジャパン バッハ《マタイ受難曲》

[日時] 2008年3月20日(木・祝) 開演 15:00

[会場] 彩の国さいたま芸術劇場 音楽ホール

[曲目] J.S.バッハ:マタイ受難曲 BWV244

[チケット(税込)] 一般: S席8,000円/A席7,000円/学生A席2,000円

メンバーズ:S席7,200円/A席6,300円

[発売日] 一般:12月1日(土) メンバーズ:11月24日(土)

誰もが自然に音楽と解け合える空間 光の庭プロムナード・コンサート(無料)

土曜日の晝下がり、光の降り注ぐ彩の国さいたま芸術劇場内「情報プラザ」で午10回開催している「光の庭プロムナード・コンサート」。劇場所有のボジティブ・オルガン(移動可能な1段鍵盤のハイブリオルガン)と器楽や声楽とのアンサンブルを中心にお届けしている。11月は、劇場でお祭り染みの「バッハ・コレギュム・ジャパン」などのアンサンブルやソロで活躍している今井奈緒子によるボジティブ・オルガン・スペシャル・コンサート。

公演情報

11月10日(土) 今井奈緒子ボジティブ・オルガン スペシャル・コンサート

[会場] スエーリング「他の星のいと美しさかな」による演奏会 他

12月1日(土) 永瀬真紀(オルガン) & 横田摶子(クラリネット)

[会場] ケルル:カプリッショ「かっこう」 他

2008年

1月26日(土) 植名雄一郎(オルガン) & 長瀬正典(サックス)

[会場] A.マルチエロ:協奏曲 二短調 他

2月16日(土) 石丸由佳(オルガン) & 柴田恵梨子(トランペット)

[会場] ブラームス:激情譜 〜わが愛する娘よ 他

3月29日(土) 吉田恵(オルガン) & 高橋節子(ソプラノ)

[会場] J.S.バッハ:カンタータ第47番より
アリア:まごとのキリスト者を名乗らんとする人は 他

ピアノの名曲をたっぷり味わい、おとなも子どもも楽しめるトークが付く「仲道郁代 ピアノものがたり」。昨年、埼玉会館で初めて開催し、「初めて聴く曲でも子どもと一緒に楽しめた」「曲の紹介やピアノの話など、子どもがとても楽しんでいた」などの声が多く寄せられ、大好評だった。また、「実験コーナー」では、実際に舞台上で何人かにピアノを観察してもらい、客席の皆さんにはスクリーンでその様子をご覧いただけます。

オーケストラは埼玉会館で

東京文化会館と同じ設計者による、重厚なホールは1315席。

埼玉でのクラシック音楽の伝統を築いてきたホールで、今後のオーケストラ公演への期待が高まる。



NHK交響楽団
～グリーグ没後100年、
シベリウス没後50年記念～
【時】10月19日(金)
【開演】19:00

最高の聴き初め、ウィーン・リング・アンサンブル



埼玉会館で行われるオーケストラの演奏会で注目されるのは、2008年1月のウィーン・リング・アンサンブルによる「ニューイヤー・コンサート」。新たな年を迎えて、ウィーンの香りを感じながら、一時、ゆったりと音楽に揺られるのは、お正月の過ごし方としては素敵なものである。

埼玉会館では、10月にNHK交響楽団の演奏会が行なわれる他、在京オーケストラのメンバーが集まり、ランチタイムに気軽に楽しめるコンサートのシリーズも開催中。12月にも新日フィルのメンバーによる金管五重奏が行われる。

埼玉会館ランチタイム・コンサート 第3回 新日本フィルハーモニー交響楽団 メンバーによる金管五重奏

[日時] 12月21日(金) 開演 12:10 (終演予定12:50)

[会場] 埼玉会館 大ホール

[出演] 鹿野孝也・市川和彦(トランペット) 山口尚人(トロンボーン)
井上詩朗(ホルン) 佐藤和彦(テューバ)

[曲目] ニコライ・アボイント:ジングル・ベル アダム:オーラ・ホーリー・ナイト
クリスマス・ソング・メドレー ほか

[チケット(税込)] 好評発売中

全席指定1,000円

埼玉会館ニューイヤー・コンサート ウィーン・リング・アンサンブル

[日時] 2008年1月5日(土) 開演 14:00

[会場] 埼玉会館 大ホール

[曲目] ニコライ・アボイント:「ウィーンの陽気な女房たち」序曲
ヨーゼフ・シュトラウス:天体の音楽

J.・シュトラウスⅡ:「ボルカ」(舞)

レハール:「メリヤー・ウィドウ」メドレー ほか

[チケット(税込)] 好評発売中

一般: S席5,000円/A席4,000円/B席3,000円/学生B席1,500円

メンバーズ:S席4,500円/A席3,600円/B席2,700円

親子でピアノの秘密に触れよう!『仲道郁代 ピアノものがたり』

[日時] 2008年3月22日(土) 開演 15:00 [会場] 熊谷会館

[チケット(税込)]

一般: A3,000円/こども3歳以上高校生以下2,000円

親子セット(大人1枚+こども1枚)4,500円 メンバーズ:大人2,700円

[発売日] 一般:12月1日(土) メンバーズ:11月24日(土)



3才以上の子供から楽しむことができる公演です。

(写真は去年開催の様子より photo: 加藤英弘)

EVENT CALENDAR

2007.9.15-11.30

9 September	
15 土	MUSIC 光の庭プロムナード・コンサート 開演14:00 会場=彩の国さいたま芸術劇場 情報ブザ 出演=花菜樹子（オルガン）小林葉菜（バロック・ヴァイオリン）※入場無料 TALK 彩の国さいたま芸術劇場 鮎川幸雄公開対談 NINAGAWA千の目 第10回 小栗旬×鮎川幸雄 ※申込みは終りました
16 日	PLAY 派氏語り五十四帖 第39回「雲隠」 開演14:00 ※詳細はP.22にて
17 月	臨時休館日
18 火	臨時休館日
19 水	
20 木	
21 金	
22 土	
23 日	
24 月	
25 火	
26 水	
27 木	
28 金	
29 土	MUSIC 宮本益光ふれあいコンサート (小学生とその家族のためのワークショップ) ※申込みは終りました PLAY クラウンのいる風景 開演16:00 ※詳細はP.22にて
30 日	MUSIC 宮本益光 パリトン・リサイタル 開演14:00 ※詳細はP.22にて PLAY クラウンのいる風景 開演14:00
10 October	
1 月	臨時休館日
2 火	
3 水	
4 木	PLAY 彩の国シェイクスピア・シリーズ 第18弾「オセロー」 開演19:00 ※詳細はP.22にて
5 金	PLAY 彩の国シェイクスピア・シリーズ 第18弾「オセロー」 開演19:00
6 土	PLAY 彩の国シェイクスピア・シリーズ 第18弾「オセロー」 開演13:00
7 日	PLAY 彩の国シェイクスピア・シリーズ 第18弾「オセロー」 開演13:00 TALK 彩の国さいたま芸術劇場 鮎川幸雄公開対談 NINAGAWA千の目 第11回 松井今朝子×鮎川幸雄 ※詳細はP.22にて
8 月	PLAY 彩の国シェイクスピア・シリーズ 第18弾「オセロー」 開演13:00
9 火	臨時休館日
10 水	PLAY 彩の国シェイクスピア・シリーズ 第18弾「オセロー」 開演19:00
11 木	PLAY 彩の国シェイクスピア・シリーズ 第18弾「オセロー」 開演13:00
12 金	PLAY 彩の国シェイクスピア・シリーズ 第18弾「オセロー」 開演19:00 CINEMA 彩の国シネマスタジオ「長い散歩」 上映時間14:00 / 18:30 ※詳細はP.22にて
13 土	PLAY 彩の国シェイクスピア・シリーズ 第18弾「オセロー」 開演13:00 CINEMA 彩の国シネマスタジオ「長い散歩」 上映時間10:00 / 14:00 / 18:30
14 日	PLAY 彩の国シェイクスピア・シリーズ 第18弾「オセロー」 開演13:00 ※公演終了後、ハックステージ・ツアーを行います。（対象者：チケット購入者・要申込） 詳細は財団ホームページにて http://www.saf.or.jp/ CINEMA 彩の国シネマスタジオ「長い散歩」 上映時間10:00 / 14:00 ※14:00上映終了後、田島良一氏によるアフタートークあり
15 月	臨時休館日
16 火	PLAY 彩の国シェイクスピア・シリーズ 第18弾「オセロー」 開演19:00
17 水	PLAY 彩の国シェイクスピア・シリーズ 第18弾「オセロー」 開演13:00
18 木	PLAY 彩の国シェイクスピア・シリーズ 第18弾「オセロー」 開演13:00
19 金	PLAY 彩の国シェイクスピア・シリーズ 第18弾「オセロー」 開演19:00 MUSIC NHK交響楽団～グリーグ没後100年・シベリウス没後50年記念～ 開演19:00 ※18:30指揮者によるプレトークあり 会場=埼玉会館 大ホール ※詳細はP.22にて

20 土	PLAY 彩の国シェイクスピア・シリーズ 第18弾「オセロー」 開演13:00 / 19:00
21 日	PLAY 彩の国シェイクスピア・シリーズ 第18弾「オセロー」 開演13:00
22 月	
23 火	
24 水	PLAY 彩の国さいたま寄席 四季影亭 ～彩の国落語大賞受賞者の会 開演19:00 ※詳細はP.22にて
25 木	
26 金	
27 土	MUSIC 白井光子（メゾソプラノ）&ハルトムート・ヘル（ピアノ） リートデュオ・リサイタル 開演15:00 ※詳細はP.22にて
28 日	
29 月	
30 火	
31 水	

前売りチケット発売情報（～11.15）

PLAY 彩の国さいたま寄席 四季影亭～年末落語会

師走の寄席は、春風亭昇太が登場。
今年の笑い納めはぜひひの国さいたま寄席で。MUSIC 呂玉 桃 ピアノ・リサイタル
～メシアン生誕100年を記念して～チケット発売日
一般：10月14日（日）
メンバーズ：10月6日（土）

© Vincent Garnier

DANCE 「日本昔ばなしのダンス」 井手茂太／康本雅子

チケット発売日
一般：10月27日（土） メンバーズ：10月20日（土） 詳細はP.7にて

DANCE ヤン・ファーブル「死の天使」

チケット発売日
一般：11月9日（金） メンバーズ：11月3日（土・祝）

© Wonge Bergmann

PLAY 「身毒丸」復活

チケット発売日
一般：11月10日（土） ※メンバーズ復先予約は、10月中旬にお送りする
チケット発売日
一般：11月10日（土） プレオーダーシートをご利用ください。
詳細はP.12にて

PLAY 彩の国シェイクスピア・シリーズ第19弾「リア王」

チケット発売日
一般・メンバーズ：10月13日（土） ※メンバーズ優先予約は、
同封のフレオーダーシートをご利用ください。

詳細はP.10～11にて

チケットの購入は
財団チケットセンター 048-858-5511 10:00～19:00（休館日を除く）

窓口営業時間】●彩の国さいたま芸術劇場 10:00～19:00（休館日を除く） ●埼玉会館 10:00～19:00（休館日を除く） ●熊谷会館 10:00～17:00（休館日を除く）

●インターネット販売及び他購入に関しては、財団ホームページ <http://www.saf.or.jp/> まで

ACCESS MAP アクセスマップ

彩の国さいたま芸術劇場



埼玉会館



熊谷会館



【優先予約】一般発売日よりも早く、チケットをご予約いただけます。

【フレオーダー】人気公演はメンバーズの優先予約に先駆けてフレオーダー ※指定席の場合、お席は抽選になります。

【レストランでの販売】おのぞきたいま芸術劇場、埼玉会館、熊谷会館のレストランでのお食事券2名様まで10%OFF。

【ポイント制度】チケットを購入するとポイントが貯まります。貯まったポイントはチケットと交換することができます。※チケット購入額100円につき1ポイント。1ポイント1円で換算されます。

【キャッシュレス】チケット代金、年会費のお支払いは、ご登録いただいた口座から毎月自動引き落としになります。

【チケットの安心無料送付】ご購入いただいたチケットは、セキュリティパックにてお届けいたします。

(財)埼玉県芸術文化振興財団メンバーズ特典

彩の国さいたま芸術劇場、埼玉会館、熊谷会館共通のメンバーズに入会すると、

「便利で楽しい特典」がもらえるになります。

【年会費】2,000円 【メンバーズ料金】財団主催公演で3,000円以上のチケットは10%OFF

【財団情報誌】彩の国さいたま芸術劇場、埼玉会館、熊谷会館で行われる公演情報が掲載されている情報誌（毎月発行）がお手元に届きます。

③ 3才以上のお子さんから楽しんでいただける公演です。光の庭プロムナード・コンサートには年齢制限はありません。

発売全公演情報(9.29~)

3才以上の子さんから楽しんでいただける公演です。

PLAY

クラウンのいる風景

日時=9月29日(土) 開演16:00、30日(日) 開演14:00

会場= 彩の国さいたま芸術劇場 小ホール

料金= 大人:2,000円 子供(3歳以上中学生以下):1,000円 セット券(大人+子供1枚):2,700円

彩の国シェイクスピア・シリーズ第18弾『オセロ』

日時=10月4日(木) ~ 10月21日(日) 全18公演 会場= 彩の国さいたま芸術劇場 大ホール

出演= 吉田鉄太郎 香井優 高橋洋 ほか

料金= 一般:S席9,000円 A席7,000円 B席5,000円 / 学生席2,000円

メンバーズ:S席8,100円 A席6,300円 B席4,500円

彩の国さいたま寄席 四季彩亭 ~彩の国語大賞受賞者の会~

日時=10月24日(木) 開演19:00 会場= 彩の国さいたま芸術劇場 小ホール

出演= 林家亮いち(平成18年度彩の国演而大賞受賞者) 林家たい平(ゲスト) 三遊亭白鳥(ゲスト) ほか

料金= 一般:3,000円 メンバーズ:2,700円 ゆうゆう割引(学生・65歳以上):2,000円

維新派『nostalgia ノスタルジア』(彼)と旅をする20世紀三部作 #1

詳細はP.13に

源氏語り五十四帖

日時= 第40回「匂宮・紅梅」12月2日(日) 第41回「竹河」2008年1月13日(日)

第42回「櫻」2008年3月16日(日) 同回開演14:00

会場= 彩の国さいたま芸術劇場 小ホール

出演= 幸田弘子 三田村雅子 料金= 全席指定 1回券:2,500円 第40~42回連続券:6,000円

DANCE

国際共同製作 インバル・ピント・カンパニー 新作2007(世界初演)

詳細はP.4~6にて

CINEMA

彩の国シネマスタジオ『長い散歩』(2006年/日本/136分)

日時=10月12日(金) 14:00 / 18:30、13日(土) 10:00 / 14:00 / 18:30

14日(日) 10:00 / 14:00 ※14日(日) 14:00 上映回終了後、田島良一氏によるアフタートークあり

会場= 彩の国さいたま芸術劇場 映像ホール 監督= 奥田瑛二

料金= 一般:前売1,000円 当日1,200円 小中高生:前売800円 当日1,000円

彩の国シネマスタジオ『トスカ』(1976年/イタリア/116分)

日時=11月16日(金) 11:00 / 14:00 / 19:00、17日(土) 11:00 / 14:00 / 19:00

18日(日) 11:00 / 14:00

会場= 彩の国さいたま芸術劇場 映像ホール 監督= ジャン・ランソム・デ・ボシオ

料金= 一般:前売2,300円 当日2,500円 メンバーズ:前売2,000円 当日2,500円

SPECIAL PICK UP

《彩の国さいたま中国映画祭》

「映画」を架け橋として文化交流の発展を担ってきた「彩の国さいたま中国映画祭」が第6回を迎える。今回も、現代中国の結婚事情やお見合いの風習を背景に家族の姿を描いた『公園』など、2007年最新作を含む計5作品が埼玉会館大ホールで2日間に渡り上映される。また、初日には来日ゲストとの交流イベントが予定されており映画祭に彩りを添える。ぜひ多彩な映像作品を楽しみながら、中国の“今”を感じてください。

【会場】埼玉会館 大ホール

【チケット(税込)】好評発売中

1回券 一般:前売800円 当日900円 高校生以下:前売500円 当日500円

3回券 一般:前売1,800円

※チケット販売は、窓口販売(埼玉会館・彩の国さいたま芸術劇場・鶴谷会館)のみとなります。
11/23(金・祝)鶴谷創造館で開催いたします。

	10:30 ~	14:00 ~	16:30 ~
11月10日(土)	A	B	C
11月11日(日)	A	D	E

MUSIC

宮本益光パリトン・リサイタル

日時=9月30日(日) 開演14:00
会場= 彩の国さいたま芸術劇場 音楽ホール
出演= 加藤昌樹(ピアノ)
曲目= ワーグナー:タミの歌、シーベルト:子守歌、武満徹:小さな空 ほか
料金= 一般:3,000円 学生:1,000円 メンバーズ:2,700円

NHK交響楽団

~クリーグ没後100年・シベリウス没後50年記念~
日時=10月19日(木) 開演19:00 ~18:20 ~ 18:35 指揮者によるプレトーク
会場= 埼玉会館 大ホール
出演= 藤岡幸夫(指揮) 仲道郁代(ピアノ)
曲目= クリーグ:ピアノ協奏曲、シベリウス:交響曲第1番 ほか
料金= 一般:S席6,000円/A席5,000円/B席4,000円/学生B席2,000円
メンバーズ:S席5,400円/A席4,500円/B席3,600円

白井光子 & ハルトムート・ヘル

リートデュオ・リサイタル ~名歌手シュワルツコップに捧ぐ~
日時=10月27日(木) 開演15:00
会場= 彩の国さいたま芸術劇場 音楽ホール
曲目= シューマン:リーダーのライス Op.39、女の愛と生涯
料金= 一般:4,000円 学生:1,500円 メンバーズ:3,600円

イエフィム・プロンフマン

ピアノ・リサイタル 詳細はP.17にて

小山実稚恵 ピアノ・トリオ 夢の響演II

詳細はP.18にて

ピアノ・エトワール・シリーズ Vol.3

デイヴィッド・グレイルザンマー 詳細はP.16、17にて

ピアノ・エトワール・シリーズ Vol.4 小菅 優

詳細はP.16、17にて

埼玉会館ランチタイム・コンサート

第3回 新日本フィルハーモニー交響楽団

メンバーによる金管五重奏 詳細はP.19にて

埼玉会館ニューアイナー・コンサート

ワイーン・リング・アンサンブル 詳細はP.19にて

清水直子 ヴィオラ・リサイタル 詳細はP.18にて

出演者詳細は、財団ホームページ

<http://www.saf.or.jp/>にて

review 公演レビュー

ピアノ・エトワール・シリーズ

vol.1 ラファウ・ブレハッチ (6.17)



2005年ショパン国際ピアノ・コンクールの覇者の音
604席のホールが描き出した、旬に輝くピアノの魅力
文=片桐卓也(音楽ライター)

2005年に行なわれたショパン国際ピアノ・コンクールの覇者ラファウ・ブレハッチ(1985年生まれ)の演奏会は、バッハの《イタリア協奏曲》から始まった。ブレハッチの軽快なタッチにより、バッハが「協奏曲」と名付けたこの作品が活き活きと動き出すのが、はっきりと感じられた。その後、リストの練習曲を3曲。そこでは、ブレハッチの並外れたテクニックの素晴らしい音色を十分に堪能することが出来た。特に音色の美しさが印象的で、どんな大きな音でも漏らないのだ。続く、ドビュッシーの《版画》では、鮮やかな音色がドビュッシーの作品の和声的な美しさをくっきりと描き出す。そしてショパンの《舟歌》と《24の前奏曲》では、さすがにショパンの母国ポーランド出身者らしい、作曲家への共感をはっきりと感じさせてながら、ピアニステイックな音の広がりを見事に表現してゆく。

ブレハッチがショパンの《24の前奏曲》全曲を弾くのは、この彩の国さいたま芸術劇場音楽ホールでの公演のみということで、ブレハッチのファンには格別のコンサートとなつただろう。しかも、音楽ホールはわずか604席。ピアノに非常に近い客席は、ブレハッチの音楽性に直接触れるような、親密な感覚をもたらす。ピアニストと聴き手の交感が感じられる環境なのである。

ブレハッチのコンサートは「ピアノ・エトワール・シリーズ」の第1回目だった。今後、イリヤ・ラシュコフスキイ、デイヴィッド・グレイルザンマー、小菅優と続くこのシリーズは、現在の世界の新しいピアニストの才能を見る絶好的の機会。彩の国でしかし聴く事の出来ないユニークなプログラムが用意されていて、ピアニストそれぞれの個性だけでなく、斬新なプログラミングにも期待が集まっている。

会場:彩の国さいたま芸術劇場 音楽ホール

photo: 加藤英弘



【公園】

THEATER BRIDGE 23

information インフォメーション

彩の国さいたま芸術劇場 鶴川幸雄公開対談

NINAGAWA千の目 第11回

【日時】10月7日(日) 14:00 ~ (約1時間)

【会場】彩の国さいたま芸術劇場 映像ホール

【定員】150名(入場無料・要申込み)

演出家 鶴川幸雄

X

作家

松井今朝子



松井今朝子(まつい けいこ)

1953年京都生まれ。早稲田大学文学部を経て松竹株式会社に入社、歌舞伎の企画・制作に携わる。同社退職後は、歌舞伎の脚色・演出・評論を手がける一方、歌舞伎入門書の監修にも積極的に取り組む。97年、初の小説「東洲しゃくしし」を発表。同年「仲夏狂乱」で第8回時代小説大賞を受賞。主な著書に拙著シリーズくま木拍子録取版版、時代小説リリー・家・家にあらすじ等がある。2007年、「吉原手引草」で第137回直木賞を受賞。

【申し込み方法】

ハガキにて以下の事項を記入の上、締切日までにご応募ください。(応募多数の場合は、抽選を行います。この場合、入場券の発送をもって抽選結果の発表にかえさせていただきます) なお、会員登録のためのIDへの候補を設定しております。

●記入事項

①郵便番号・住所 ②氏名(フリガナ) ③年齢

④会員番号(財団メンバーズの方)

⑤希望人数(1名のハヤキで2名まで)

●応募締切

9月25日(火) 当日消印有効

●応募先

〒338-8506 埼玉県さいたま市中央区上峰3-15-1

(財)埼玉県芸術振興財團「千の目/10/7入場券集係」

●問合せ先

メンバーズ事務局 tel.048-858-5507

サポーター会員 H19.7現在

(株)与野フードセンター／(株)亀屋／武州ガス(株)／(株)エフテック／(株)松本商会／(有)香山壽夫建築研究所／埼玉新聞社／(株)テレビ埼玉ミュージック／金井大道具(株)／埼玉りそな銀行／(株)パシフィックアートセンター／アサヒ印刷(株)／FM NACK 5／東京電力(株)埼玉支店／東京ガス(株)埼玉支店／埼玉県信用農業協同組合連合会／カヤバシステム マシナリー(株)／(株)八木橋／(株)タムロン／(株)オメダム／(株)十万石ふくさや／森平舞台機構(株)／日本データコム(株)／(株)ビルメン／東芝ライテック(株)／埼玉トヨタ自動車(株)／リズム時計工業(株)／(有)齋賀設計工務／クレディ・アグリコル アセットマネジメント(株)／ソシエテジェネラルアセットマネジメント(株)／(株)スズセン／(株)武蔵野銀行／浦和ロイヤルパインズホテル／(株)アルピーノ国際照明(株)／(株)松永建設／(株)サイサン 会長川本 宜彦／三国コカ・コーラボトリング(株)／あいおい損害保険(株)埼玉営業部(株)ショーモン／埼玉スバル自動車(株)／(株)木下フレンド／(株)東玉／桶本興業(株)／(株)佐伯紙工所／(株)太陽商工(株)しまむら／アイジャパン(株)／(株)ウム・ヴェルト・ジャパン／(有)六辻ゴルフセンター／(株)オリエント／不動開発(株)／(株)明成ホッカイエムアイサー／(株)埼玉県信用金庫／(有)武藏興産／(株)栗原運輸／(株)エコ計画／彩の国SPグループ／(有)プラネット(株)イヤホンガイド／トキタ種苗(株)／関東自動車(株)／日本ピストンリング(株)／(株)クマクラ／(株)デサン／亀井産業(株)／グリーン企画社／(有)高信／(株)中島運輸／(株)国際ビジネス研究所／セントラル自動車技研(株)／(株)Liviko／(株)アズマン太平洋セメント(株)／(株)ビー・アンド・イー・ディレクションズ／朝日新聞 伸光堂さいたま販売(株)／丸美屋食品工業(株)マツヤハウジング(株)／日立キャピタル(株)北関東営業本部／ポラスグループ／伊田テクノス(株)／(株)リゾン

「サポーター会員」入会のご案内

埼玉県芸術文化振興財團では、財団の活動を支援していただける法人、団体又は個人の方を対象にサポーター会員の募集を行っています。

【入会による特典】・劇場内サポーターボードへの会員名掲載 「埼玉アーツアーティスト通信」やホームページへの会員名掲載 ・劇場内広報用パンフレットスタンプの利用 ・財団主催公演へのご招待 その他

【年会費】1口 10万円(有効期限は、入会月から1年間となります) 【事務局】(財)埼玉県芸術文化振興財團 営業宣伝課 サポーター会員担当 TEL 048-858-5500(代)

おはよう。トニトニ山で朝中海に面する涼地
には草原の大端が奥へとおり誰も来きてない。噪
しここやうだ。今日せんじ秋じたまでも涼地す
る新作りハーベストが本日。今回創作する新作に今
ハサーンとして参加することに決まったとき「おはよ
大橋真太郎モドリアビト」に到着しているはずで、
今日はオベリ座のマタジオで競合させし「ハーベ
サ」開始の予定。カンバニーメンバー以外のダン
サーが現しての新作作業はわたしたちなどハーベ
サははじめてのことなので、ちょっと不安でもある
けれど、ここでは全然違った道を歩んできてい
て経験豊か、それぞれが思いっきり個性的で素
晴らしさアートアートだし心配よりおほむかし
せうに賭けよ。」

「わおー一緒に仕事をしたことがないトニトニト
ムーと組むことせ、作品の領域に壁を認め入る、
作品を変化するところ。わたしたちが舞いり
自分たちのエンドリヤロボにギーを任せ「交換
(交感)」していけねばいいと堅つている。

今日G二ハーベストは作品種レガキの大臣に御
用務治G「銀河鉄道の夜」Gハローハリとカバ
ネヒトの関係を想出してみね。立派な大劇
みになつてきました。

Artist Diary

テルアビブ 8月2日 朝

テと绘=インバル・ピント&アヴシャロム・ボラック

